

3月定例会の日程

《2月》	25日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明など〕 予算審査特別委員会
《3月》	3日	本会議〔一般質問〕
	4日	本会議〔一般質問〕
	5日	総務委員会
	6日	経済委員会
	9日	文教委員会
	10日	予算審査特別委員会
	11日	予算審査特別委員会
	12日	予算審査特別委員会
	13日	予算審査特別委員会
	18日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

画整理事業の推進を図るため、10億337万円が計上されました。

そのほか、新消防庁舎建設事業をはじめ、設楽ダム関連負担金、(仮)障がい者歯科診療所の開設費、中小企業緊急支援事業などが予算化されました。

●歳出

●総務費

自転車駐車場に防犯カメラ

問 新しくできる自転車駐車場に設置する防犯カメラの台数等はどのようか。また、システムの維持管理等にかかる費用は。

答 蒲郡駅西高架下自転車駐車場に合計で14台のカメラを設置し、レコーダーも3台設置する予定である。

維持管理等に費用は特にからないが、修理代については予算化していかなければならぬと考えている。

●民生費

コミュニケーション支援

問 コミュニケーション支援事業の現在の取り組み内容は。また、新年度予算の範囲の中でどの程度のこと

ができるかと考えているか。答 現在は、手話通訳の派遣調整をもらう取り組みとボランティアによる手話の初心者講座を開いている。新年度予算では、手話通訳者の派遣機会を増やすなど、支援の幅が広がってきている。さらに要望を丁寧聞いて整理して、支援の対応をしていきたい。

●衛生費

障がい者歯科診療所

問 21年7月から、市長のマニフェストに基づき、障がい者歯科診療所が開設される。その内容と認知症の方々の受け入れについてはどのように考えているか。

答 7月から毎月第2、第3、第4木曜日の午前中に開設する。まずは知的障害の方の治療を優先的に行うことになると思う。今すぐには認知症の方まで含めることは少し難しいと考える。

●農林水産業費

めひかりのブランド化推進

問 漁業の経営が厳しく、後継者も少ない状況の中で、漁業の経営の健全化は重要だと考える。その中で、「めひかり」のブランド化をどのように展開していくのか。

答 蒲郡めひかりは、隣接県では知られていないと思われる。21年度から周知活動を行っていく。具体的には名古屋、浜松あたりで周知のイベントを開きたい。また、観光客を相手にする旅館、ホテル、飲食店、土

産屋などに協力いただき、シールや旗などでのアピールも考えていきたい。

●商工費

ニューメディア対策事業

問 ニューメディア対策事業の内容と観光宿泊客2割アップとの関連は。

答 この事業は、インターネットエージェンシーとタイアップして、蒲郡市観光協会のホームページにバナーを張り、宿泊者増に向けて取り組み。2割アップのため、魅力あるホームページへのリニューアルを図り、若者の宿泊が増加するように基盤整備をしていきたい。

●土木費

駅周辺施設管理維持費

問 蒲郡北駅前広場の形が変わり、広くなる中、管理維持費が削減されているが、どのようなか。

答 トイレが1つなくなっただということが削減の大きい部分であり、また、自転車駐車場が新しくなるため、管理が少なくなり、あわせて全体で見ると300万円ぐらいの削減になっている。

●消防費

住宅火災警報器の普及

問 既設住宅への住宅火災警報器の設置を推進するための今後の取り組みについて伺う。

答 自主防災の訓練、救急講習、保育園・小中学校の訓練の機会に、実際にあった有効事例を訴えて普及活動を行っていく。また、高齢者を対象に、老人クラブの寿楽荘での集会、レクリエーション大会、福祉施設からの住宅防火にかかわる出前講座などの機会に出向き、説明を行っていく。

●教育費

子ども交流事業

問 子どもたちの人間関係を築く力を育成するため、異年齢や異世代との交流及び体験活動などの機会を提供することで青少年の健全育成を図ることを目的とすることを考えているか。

答 市内小学校の4年生から6年生の男女30名を公募し、市内3つの高校のボランティア部等々の生徒と協